



サロンあべの

〈サロン・あべの〉2月の出会い ので、ご注意ください

平成19年2月17日(土) 〈サロン・あべの〉2月の出会いは、映画「ジョゼと虎と魚たち」のDVD鑑賞でした。(以降に、ストーリーの麻雀屋である噂を耳にする。それは、近所に出没するひとり

の婆さんのこと。彼女はいつも乳母車を押しているが、その中身を知る者は誰もいないというのだ。ある日、恒夫が麻雀屋のマスターに頼まれて、犬の散歩をさせていると、大きな悲鳴が響き渡った。恒夫が慌てて声の方向に駆けつけると、何者かに襲われた乳母車と婆さんがおり、逃げていく後姿があった。婆さんに言われて乳母車の中を

覗くと、そこには包丁を振り回す少女がいた。婆さんは、脚が不自由で歩けない孫のくみ子を乳母車で散歩に連れ歩いていただけだった。恒夫は御礼に振舞われた朝食を食べさせてもらいながら、くみ子の不思議な性格に惹かれる。

くみ子は、フランソワーズ・サガンの小説から取った名前ジョゼを自分に名付けて、常にジョゼと呼ばせる不思議な女の子だった。

一方で恒夫は、大学の同級生の香苗に好意を持っている。福祉関係の就職を希望している香苗との会話のネタに、脚の不自由なジョゼが家の中にあつちこつちからダイブすることなども持ち出したりのすが、思うように関係は進まない。ジョゼのことも気になる恒夫は、事あるごとに家を訪ねる。ジョゼの部屋には祖母が拾ってきた様々なジャンルの本



ジョゼと虎と魚たち

わかれて乳母車の中を

がある。その中から、恒夫が抜き出した1冊が、フランソワーズ・サガンの「1年ののち」。いつもそっけないジョゼが、その本の続編を読みたいと強く言う。恒夫は既に絶版となっていた続篇「すばらしい雲」を古本屋で探し出し、プレゼントする。

恒夫の計らいで国の補助金があり、ジョゼの家の改築工事が始まった。完成が迫ったある日、突然の香苗の見学に戸惑う恒夫。「彼女? 恒夫くんが言っていた

すごい元気な女の子」 押入れの中であつたりの会話を聞きながらうつむくジョゼ。その日の夜、再び恒夫はジョゼを訪ねる。ジョゼは泣きながら本を投げつけ「帰れ!」と叫ぶ、恒夫は婆さんにもう2度と来ないようにと釘をさされる。

数カ月後、就職活動中の恒夫は、ジョゼの家の改築工事をした会社の見学へ。工事で知り合った現場主任から、ジョゼの婆さんが急逝したことを知らされ、呆然とする恒夫。

□キャスト

恒夫(つねお) - 妻夫木聡
ジョゼ(くみ子) - 池脇千鶴
香苗(かなえ) - 上野樹里
ジョゼの祖母 - 新屋英子

□スタッフ

原作: 田辺聖子
脚本: 渡辺あや
監督: 犬童一心

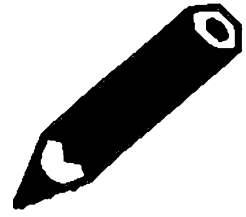
恒夫はジョゼの家へと急ぐ。もう訪ねることもないと思つていた懐かしい家。ジョゼは静かに恒夫を家に招きいれる。お葬式から最近の暮らしぶりまで、淡々と語るジョゼだったが、恒夫がジョゼの

行動に口をはさんだ途端、わめきながら恒夫の背中を殴り始める。その怒鳴り声はいつしか泣き声に変わり、やがてふたりはお互いの存在を確認しあうようにひとつになる。ジョゼにとつてはじめての経験だった。恒夫とジョゼは一緒に暮らし始める。ジョゼの家に運び込まれる恒夫の荷物。部屋が変わつていくのを不思議そうに見回すジョゼ。「ずっと一緒にいような」と恒夫が言う。ジョゼはぼんやりと空を見つめて微笑む。恒夫は、徐々にジョゼのことを知っていく。

2人は動物園に行つて虎を見る。ジョゼは虎の猛獣特有のしぐさを見、咆哮を聞いて失神するほど怖かった。恒夫にすがつて「好きな男の人が出来たとき、一番怖いもの、虎を見たいと思つてたんや」
2人で過ごすささやかな幸せは、いつしか終わりのときが来た。
(参加者10名 山村貴司)

やってくる・・・。
冷たい雨が降る中、この日お集まりいただいたのは——
邦・洋、メジャー・マイナー関係なくとにかく映画であれば何でも来いの映画通、
新屋英子といつしよに芝居をしたことがあるという方、
若い頃から本の虫。今なお読書大好き人間、
何といつても、田辺聖子の作品がお好きという方が圧倒的でした。
見終わった、大学生の恒夫と、脚の不自由なジョゼの、キュートでピュアなラブストーリーの話から、今時の日本映画事情。池脇千鶴が出演した朝のドラマ「ほんまもん」、今放送中の田辺聖子原案の「芋たこなんきん」まで。楽しい話が広がった(へサロン・あべの) 2月の出会いでした。

35



邦子、 35歳の手習い。

高垣さんの思い出

私の夫は、1976年12月に交通事故で頸椎損傷の障害者になりました。それは夫が34歳の時でした。事故から、10カ月後に大阪社会事業短期大学の教員として復職して、1999年1月に亡くなるまでのほぼ22年間、教員として働くことができました。大阪社会事業短期大学は1981年に大阪府立大学に統合され、4年制の社会福祉学部になりましたが、夫が勤務した22年の間に、3人の車イスの障害者学生が入学しました。

夫の最初の車イス障害者学生との出会いは、筋ジストロフィーの障害をもつ故・高垣

和さんです。当時、夕陽ヶ丘の学舎は車イス障害者対応の施設もなく、教員の研究室は2階にあり、階段を利用しなければならなかったので、夫の復職に際して、中庭にプレハブの研究室がつくられ、1階の1つのトイレが障害者用に改造され、授業は1階の教室でするといふように最小限の施設の整備と配慮がされました。

高垣さんは、1981年4月に入学しましたが、入学に際して障害者学生の休憩室が、夫の研究室の隣にできました。高垣さんはお父さんが短大への送り迎えと介護をされていました。お父さんは、和さんが、高校に入学するまで、一生懸命に働き、入学と同時に仕事をやめ、和さんの高校への送り迎えと介護をすることを決めていたということでした。その理由の1つには、「もし、火事や災害の場合、自分の息子のために他の生徒が逃げ遅れたりして、迷惑をかけないため」にも、和さんが大学を卒業するまでは、体力のある自分が介護すると決めていたということでした。お父さんは、和さんを教室に送っていき、授業の間は、休憩室で待ち、授業が終わればすぐに迎えに行っていました。「依存による自立」をいっていた夫の考えとは少しかけ離れています。同じ障害者の家族である当時の私には、お父さんのお気持ちがよく理解でき、父親の愛情の深さを感じました。

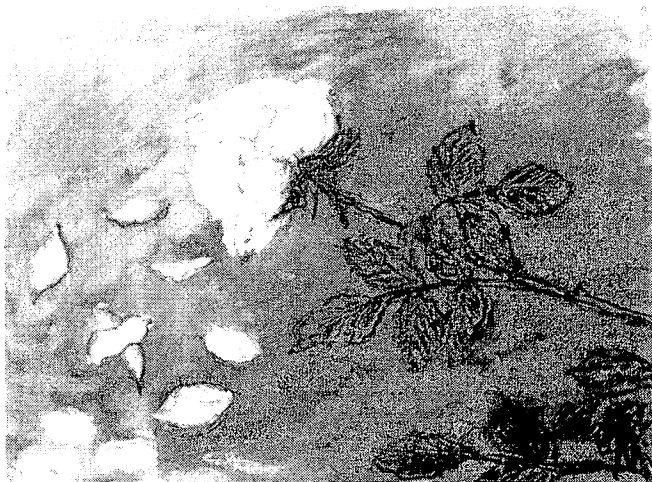
高垣さんの入学を契機に障害者への理解が学生の中に深まっていききました。夫は当時、高垣さんのことを次のように語っています。「いつも父親がつきっきりだったのに、今では学生たちが送り迎えし、授業中の介護も、時には下宿に泊めたりするようになっている。それと前後して週に1回だけだが、学生たちが僕の大学と自宅の送迎も行うようになっていく」

高垣さんのボランティアは主に学友である数少ない男子学生でした。しかし、お父さんが、手術で入院された間、送りボランティアは女子学生も含んだローテーションが組まれるようになり、他の学生との交流も深まっていきました。高垣さんは、短大最後の卒業生でもあり、府立大学社会福祉学部の第1期生とも重なることもあり、卒業後も高垣さんの友人であり、ボランティアであるという学生さんも多くいました。

高垣さんは卒業後、20歳半ばで亡くなられましたが、高垣さんの生き方に影響を受け、卒業後、障害者や福祉関係に進んだ学生さんも多く、高垣さんのことは今も心に焼き付いていることと思います。私の夫は、同じ障害者として、高垣さんへの思いは特に強かったです。私、高垣さんのいつも笑顔で話していた、前向きな姿が今も心に残っています。

(定藤邦子)

最後の成長



小さな子どもと暮らしていると、日々成長しているのがわかる。このあいだまで言わなかったことを今日話し始めたり、今日はできなかったことも明日にはできたりする。数年

前の写真を見ると、別の子どものようにさえ見えることもある。

成人したあとも人は成長する。社会人になって成長するというのは、心身の成長を言うわけではない。人への配慮ができるようになって、きちんと自分の意見を出せるようになって、きちんと自分の人格的な、社会的な成長を言うのである。

そういう成長も老年になれば忘れられることが多い。「八十歳になられて、さすがにあの人は成長された」というような台詞はほとんど聞いたことがない。それも老年になれば、子どもや成人期前期に見られたような成長は望めないという常識が一般にはあるからだろう。

しかし「人は死ぬまで成長する」という説もあるそうだ。体力も気力も衰えがちな老年の日々どんな成長が期待できるのかというと、それは「死を受け入れる」ことに向かう成長だという。あわてず恐れずに死と向かい

好評のエッセイ

岡 知史著

知らされない
愛について

700円

ほんの少しの
神に近い部分

700円

合い、それを自分のものとして抱きかかえること。老年の成長はそれを目標としているというのである。

生がいよいよ勢いを増していくという印象がある「成長」の果てに、死の受け入れがあるとは容易に想像できることではない。人が生きてたどりつく最後の高みが、自らの虚(むな)しさを知ることと終わるといふのなら、全体はまるで喜劇のようであるし、なんだか騙(だま)されたような気分さえなるだろう。

成長は喜びをとまなうものだ。できなかった

100均

昨年の秋に右腕を骨折して入院。日常動作にいろいろな不便が生じました。片手を固定したので、松葉杖が使えず車いす使用。介助されなければ、室内も動けないありさまでした。それで右側のブレーキを操作できれば足でけて動けると考えました。早速、リハビリの先生に話をすると、右側のブレーキにサラップの筒をさしてその先にクリーニング屋の針金ハンガーで長い持ち手を取り付けてくださいました。これで左手で右のブレーキ操作ができ、室内での動きが自由になりました。この車いすのブレーキ筒は、半身マヒの人によく使うのですが、その筒先に針金の持ち手を付けたのは私が初めてとか。退院時にそれを持ち帰り、家での車いす操作にも重宝しました。その他にヘアブラシやS字型リーチャー、軟膏用ヘラなど、私の手に合う自助具を作ってくださいました。この自助具のお陰で身の回りのことができて助かっています。2月に入りようやく右手も動かせるようにはなりましたが、思うようには動かず、スプーンの先が口に届かないありさま。リハビリの先生に伝えたところ、いいものがあると見せていただいたのがスプーンの受け口が90度曲がっているものでした。「自助具専門店では、値段も高いが、これは100均で売っていた。そのようなお店に介護用のスプーンやホークがあるというのがうれしい。それも右用・左用があった」と言われました。私の自助具の部品も100均で求めてきたと伺いました。外出できるようになったら、一度「100均」探訪を試みたいものです。(け)

.....ききみみずきん

たことができるようになり、自分の世界が広がっていく。それを実感するのが成長だとしたら、死を受け入れることも成長と言えるのか。自分の限界を知り、自分が消えてなくなることを覚えることが、喜びにつながるのだろうか。

生きている人は死んだことがない人たちだが、死んだ人は生きたことがある人たちだ。そういう意味で、死んだ人は生きた人よりも世界が広い。二つの世界を経験しているからである。死を受け入れるということは、死ん

だ人の世界をも自分のものとするのであり、その限りにおいて世界は広がる。そう考えれば、死を受け入れることは成長である。また、死を受け入れるというとき、私たちは今までは違ったものに価値を置かなければいけない。よく言われることだが、どんな財産もあの世には持つていくことができない。名声や美貌も死んだあとでは意味がない。目に見えること、物として形あるものは捨てられる。私たちは、いままで尊(とうと)しとしなかつたことを尊(たつと)ぶことを

学ばなければならない。そう考えると、これも成長なのである。

子どものころの、何ができるようになった、身体が大きくなったという成長は、社会人になってから自分を抑えられるようになった、他人に配慮できるようになったという成長とは全く質が違う。もつとより深く大きな成長が、私たちの人生の果てには期待されているのだろう。

(知)

Mai スウェーデン 留学記 6

ヴェクショー大学

少しスウェーデンの教育制度をお話したいと思えます。ここでは、主に私が留学していたヴェクショー大学でのシステム、留学生に対するサポート体制などをお話したいと思えます。それまでの教育システムについては、簡単な説明となつてしまっていますが、お許しください。

義務教育期間は、基礎学校（小中学校）といわれ、6歳、7歳から始まります。日本と同じように9年制ですが、日本のように小学

校・中学校と分かれてい

るのではなく、一貫教育

になります。英語教育は、

だいたい4年生（10歳）か

らです。基礎学校を卒業

すると、就職するか、日本

のような高校に通う場

合、仕事に直結した専門

学校に通う場合などがあ

ります。最近では、高等教育

を受ける学生が非常に多

く、義務教育終了後、高等

教育を受ける学生は約98パーセントにもなり

ます。後に詳しくお話したいと思つていま

す。高校卒業は、スウェーデン人にとつて大

イベントとなり、卒業式は派手に行われるの

です。

スウェーデンの大学は、すべての大学が一

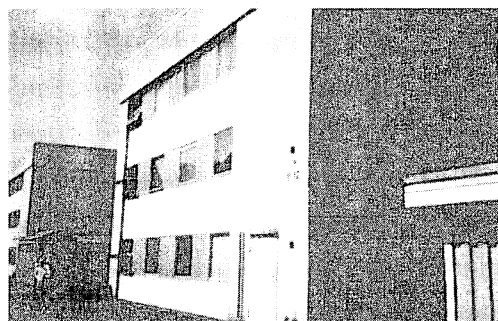
斉に8月末から9月に始まります。だいたい

秋学期は9月から1月半ば、春学期は1月半

ばから6月の初めまで。集中制なので、ひと

りの学生が日本のように何科目もの科目を1

度にたくさん取得することはありません。自



学生寮外観（大学構内）



寮内

分が所属するコース内にある科目を毎月1科目ずつ受講するシステム。つまり、学生は毎月1科目ずつ受講していくので、コースが修了するまで毎月違う科目を受けていることになりません。日本人の留学生が日本の大学と同じような感覚で1度にたくさん授業を取ってしまうと、同時期にレポート、発表、試験が重なり、手に負えなくなってしまうので注意しなければいけないのです。この集中講義制のおかげで、私はソーシャルワークのコースで日本の大学生活より充実した大学生活を送



ヴェクシヨ大学 (メインビルディングにて)



ヴェクシヨ大学構内 (メインビルディング内)

ることができたとおもいます。1つの科目について、より深く考え、探究できるスウェーデンのシステムは私には合っていたのだと思います。

ヴェクシヨは、デンマーク・コペンハーゲンから250km、首都ストックホルムから

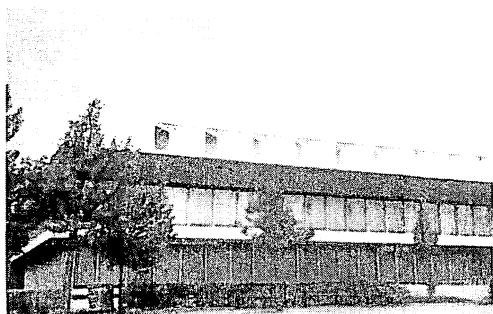
420kmの所に位置しています。森と湖に囲まれたとても環境の良く、人口76000人の都市です。

ヴェクシヨ大学は、欧州各国と日本、アメリカ、韓国、中国、南米という世界各国から留学生を受け入れています。1977年からリンド大学から独立し、1999年による「University II総合大学」となった歴史の新しい大学です。現在、14000人の学生が在籍し、毎年約650人の留学生がヴェクシヨ大学で学んでいます。

ます。大学内のインターナショナル・オフィスのスタッフが、留学生の生活面・勉強面もサポートしてお

り、到着期間の間、駅や空港まで迎えにきてくれ、寮の手配もしてくれるのです。オリエンテーション期間も設けられ、スウェーデンでスムーズに生活できるように、困ったことがあれば、いつでもスタッフが相談できるようになっています。ヴェクシヨでは、いつでも相談できるように、「フアダー」と呼ばれるスウェーデン人の学生をひとり付けてくれます。フアダーによっては、留学生と全然関わらないままに終わってしまうこともあり、私のフアダーは、日本にも興味を持っていて、とても親切な学生で、

ヴェクシヨ大学は、国際的な大学ということで、留学生に対するサポート体制は他のスウェーデンの大学より、しっかりしている



ヴェクシヨ大学図書館外観

よくランチに呼んでくれたり、ヴェクシヨール大学に到着早々に、「大学を案内してあげる」と大学案内もしてくれたり、クリスマスには、クリスマス用にルシアパンを焼いてお茶をしたり、いつも気にかけてくれていました。私は、彼女が大好きでしたが、一緒に日本食を作って食べられなかったことが残念です。

学生寮は、大学構内とダウンタウンに近い寮とに分かれますが、すべて個室でシャワー・トイレ付。キッチンとリビングは共同ですが、みんなが集えるようになっており、快適なのです。

授業は、留学生用のコースが設けられているので、すべて英語で行われます。スウェーデンで生活するのに困らないようにするために、簡単な日常的に使われるスウェーデン語も学ぶことができますが、大学生活の中では、英語の方がスウェーデン語より重視されます。スウェーデン語は一切使わなくても英語さえある程度使うことができれば、生活にはほとんど困ることがありません。

ソーシャルワークコースでは、私を含め、6人の日本人留学生と、ドイツ、イタリア、

フランス、アイルランド、リトアニアからの留学生が集まり、全員で13、14人くらいで学んでいました。グループ・ディスカッション、施設訪問、実習、リトアニア大学とのテレビ電話講義など、ただの受身の授業ではなく、積極的に自分達が主体となって参加し、自分の国とスウェーデンを比較して考えていく方式でした。だからとても楽しくて、充実していましたが、うまく日本の現状を表現できなくて悔しかったり、他の欧州諸国と比べても、日本の福祉のサポート体制が決して良い状況でないのも、未開の国のようで恥ずかしかったり、毎日が刺激的でした。

ヴェクシヨール大学のサポート体制が整っていたことは、留学生生活をスムーズに送る上で本当に良かったと思います。でも、それ以上に良かったのは、様々な国の人と一緒に勉強できたことだったと思います。留学で得たものは、私にとって多すぎて、今、少しずつ消化しているという感じなのですが、一番影響が大きかったのは、やはり様々な国から来ている友人達。同じコースや寮の仲間、共に学び、共に生活してきた仲間がかけがえのない宝です。

(清原 舞)

ありがとうございました。

カンパ、切手・ワイン・チーズ・ペットボトル茶・お茶の葉・お茶菓子の奇贈、また、サロングッズのお買い上げなどありがとうございました。

カスターネット、稲垣恵雄、今西美奈子、岩本温子、岡賀寿子、神谷君江、黒田るり子、神城昭子、小西京子、阪井健二、目和子、定兼万代子、高濱吉増、竹村定子、田辺サカエ、谷本仁子、照井邦子、仲田孝史、長島伊津子、野村嘉寿子、東百合子、平岡太、真殿香與女、宮崎徹朗、森芳江、和田保子、その他の方々。(敬称略)

原色の国より届く
絵葉書を見ており
夢の続きのように

—— 俄 万智
(サラダ記念日)

サロンの一筆箋

一冊一〇〇枚綴り一五〇円

美智子のこんな話

岸田美智子

障害者「すみよし」公開セミナーの
お知らせ

だが、今年も左記のような内容で行うこと
になりました。今年のテーマは、やっぱり

を毎年行ってきたし
容と今後の課題を明らかにしていきたいと
思います。1人でも多くの皆さんのご参加
をお待ちしています。

自立生活センタ
ー・まいどでは、住吉
区内の社会福祉法人
などの9団体と連携
してタイムリーなテ
ーマで公開セミナー
を毎年行ってきたし
容と今後の課題を明らかにしていきたいと
思います。1人でも多くの皆さんのご参加
をお待ちしています。

障害者自立支援法についてです。昨年10
月から全面実施になり、その問題が障害者
の生活をおびやかしています。しかし、今
年の4月からは、早くも自己負担額の上限
が4分の1になるなど、その内容がころこ
ろ変わってきています。現時点での改正内
容と今後の課題を明らかにしていきたいと
思います。1人でも多くの皆さんのご参加
をお待ちしています。

記

○日時=3月27日(火)午後6時~8時

○場所=住吉人権文化センター・ホール

電話06-6674-3731

交通:南海高野線

「住吉東駅」徒歩5分

○講師=井上泰司氏

(大阪障害者センター常務理事)

—内容—

6:00…開会挨拶

6:05…区役所挨拶

6:15…講演 井上泰司氏

テーマ

「障害者自立支援法見直しと今後の課題」

7:15…各団体からの問題提起

小規模作業所・地域活動センター

・社会福祉法人野菊の会

グループホーム・NPO法人WING

通所授産施設・社会福祉法人熱と光

居宅介護・社会福祉法人ひよこ

7:45…講師からの意見

8:00…閉会

○参加費=無料 ○駐車場=なし

*手話・点字が必要な方は、現時点でご用意で
できるかどうか分かりませんので、申し訳あり
ませんが下記までご連絡ください。

○連絡先=

社会福祉法人あいえる協会

自立生活センター・MY-DO~まいど~

担当=岸田・赤松

〒558-0002

大阪市住吉区长居西1-9-12キミハウス1階

TEL06-6609-3133

FAX06-6609-3210

メール cll-mydo@jasmine.ocn.ne.jp

晴れのち晴れ-102-

稲垣恵雄

□かわいいのは？ こわいのは？ ①

私たち夫婦には子供も孫もいないのでよく分からないが、孫のおる人から「本当に孫は目に入れても痛くないほどかわいいですよ」と言うことを耳にする。

そんな中で先日、新聞の投書欄にこんな話が載っていた。

ある日、同居している息子が寝ころんでテレビを見ていると、孫が「パパ、早く起きてよ！」と息子の髪の毛を引っ張るのです。息子は「うん」と返事はするのですが、なかなか起きようとしません。すると孫は2度も3度も髪の毛を引っ張るので、ついに息子は痛みに耐えかねて「痛たたっ！」と顔をしかめながら起き上がったのです。2人の様子を見て私は「かわいい息子に何する

の？」と、この時ほど孫が憎いと思ったことはありませんでした。だから私は孫より子供の方がかわいいのです。

私はこの投書を読んで「私は孫より子供の方がかわいい。でももっと深く考えると孫や子供よりも自分の方がかわいい」と、ある人が言われていたことをふと思い出した。

「自分が一番かわいい」と言えば、私はこの人を思い浮かべるのである。それは歌舞伎や浄瑠璃にも取り上げられている安土桃山時代の盗賊だった石川五右衛門親子が釜ゆでの刑に処せられたことである。（つづく）



お知らせ

〈サロン・あべの〉4月の出会い

内 容：長居植物園へ春を探しに
場 所：大阪市立長居植物園

TEL 06-6696-7117

最寄り駅：地下鉄御堂筋線「長居」

3番出口東へ800m

日 時：4月21日（土）午後1時～4時

集合場所と時間：長居植物園正門 午後1時

入園料：小中学生・65歳以上・障害者（要手

帳）と介助者は無料

雨降りの時：隣の自然史博物館や花と緑と自然

の情報センターを見学

申し込み締め切り：4月15日

申し込み・問い合わせ先：

TEL 06-6691-1028（富田慶子）



SALOON

4月はどこのサロンの、どのテーマがお気に入りですか。いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」4月の出会い

日 時：4月15日（日）午後1時30分～4時
 内 容：子猫と、トランペット吹き
 -様々な人と出会いそして、子猫との出会い-
 ゲ ス ト：堀北純生（ほりきたすみお）氏
 ジャズトランペッター・「福祉教育を語る会」
 会 費：なし
 場 所：淀川区民センター「やすらぎ」
 大阪市淀川区三国本町2-14-3
 問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビューロー） ☎ 06-6394-2900
 E-mail : sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」4月の出会い

日 時：4月28日（土）時間未定
 内 容：淀川で「シジミ狩り」
 場 所：集合場所等未定
 問い合わせ先：西淀川区在宅サービスセンター
 ☎ 06-6494-0635
 中本 ☎ 090-9864-9678

■「サロン「アイ」4月の出会い

日 時：4月14日（土）午後1時30分～4時
 内 容：おたっしやサロン（出前サロン）
 パネラー：隅田耕史（すみだこうじ）氏
 NPOフェリスモンテ・ボランティアコーディネート
 会 費：なし
 場 所：「おかちやま」2階ボランティアルーム
 大阪市生野区勝山北3-13-20
 問い合わせ先：生野区社協（ボランティア・ビューロー） ☎ 06-6712-3101
 ○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが出来ます。ご希望の方は、西浦まで。
 ☎ 06-6757-8574

■「サロン・にし」4月の出会い

日 時：4月14日（土）午後2時～4時
 内 容：かるた遊びを楽しもう！
 場 所：西区在宅サービスセンター第1会議室
 大阪市西区新町4-5-14
 ☎ 06-6539-8075
 会 費：なし
 問い合わせ先：関口 ☎ 090-4281-5641

■《てくてく・すみよし》4月の出会い

日 時：4月7日（土）
 集合時間：午後12時30分
 阪急梅田駅車いす改札口前
 午後1時発河原町行き特急乗車
 内 容：八ツ橋の焼き子体験 -焼き子の衣装に着替え、八ツ橋の手焼きを体験-
 場 所：井筒八ツ橋京極一番街店
 （河原町駅から西へ5分）
 参加料金：1000円（交通費別・おみやげ付き）
 申し込み締め切り：3月31日
 申し込み・問い合わせ先：
 山本篤江 ☎ 06-6692-8411
 携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」4月の出会い

日 時：4月1日（日）午後1時30分～4時
 内 容：大阪市の交通バリアフリーに関する取り組み -みんなにやさしいバリアフリーのまちづくりについて-
 ゲ ス ト：福本 肇氏（大阪市計画調整局計画部交通移動円滑化施策担当課長）
 会 費：なし
 場 所：鶴見区民センター3階
 大阪市鶴見区横堤5-3-15
 問い合わせ先：鶴見区社協（ボランティア・ビューロー）
 奥井 ☎ 06-6913-7070

■「サロン北」4月の出会い

日 時：4月21日（土）午後2時～4時30分
 内 容：未定
 場 所：障害者福祉作業センター「たけのこ」
 大阪市北区本庄東2-6-11宝来堂ビル1階
 問い合わせ先：障害者福祉作業センター
 「たけのこ」内 ☎ 06-6372-8074

■「サロンいたみ」4月の出会い

日 時：未定
 内 容：未定
 問合せ先：安藤れい子 ☎ 072-784-1718

春のうた

冬の終わり

雪がとけて

鳥たちが

もどつてきたら

それは

春のうたのはじまり

.....

「童謡♪絵はがき」

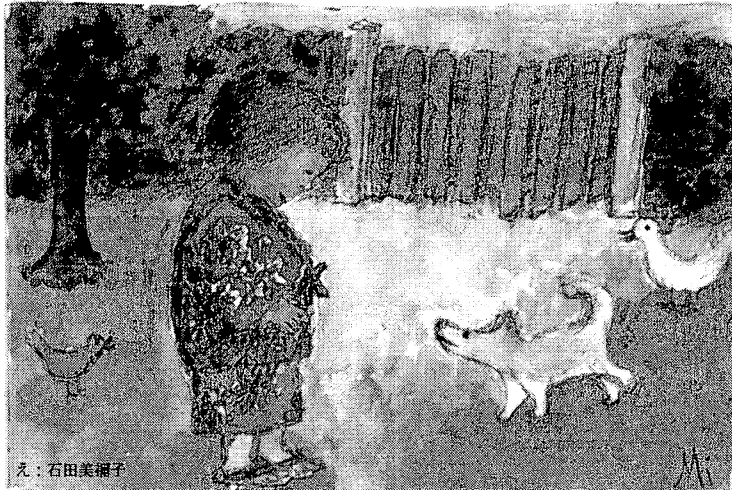
・ 仰げば尊し

・ 春よ来い

・ 早春賦

・ 春が来た

・ どこかで春が



え：石田美禰子

童謡♪絵はがき・春

■ 5枚1組 ¥180

寄りみち



大阪弁でカラッと明るい語り口で恒夫と2人の幸せな生活を綴っているのに、どこか冷えた深海の水を思わせるジョゼの感情が醒めていて切ない。・・・恒夫はいつジョゼから去るか分からないが、傍にいる限りは幸福で、それでいいとジョゼは思う。そしてジョゼは幸福を考えると、それは死と同義語に思える。完全無欠な幸福は、死そのものだった(本文より)。「ジョゼと虎と魚たち」は25頁くらいのごく短い話ですが、田辺作品のエッセンスが凝縮されたような感じを受ける非常に濃い内容のチャーミングな作品です。(石)

<サロン・あべの>VOL. 249 発行：平成19(2007)年3月17日 定価¥100
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>